

令和6年春期富岡第二地区推進連絡会

1 日時

令和6年2月25日（日） 15:00～16:45

2 場所

富岡会館

3 参加者

(地域側) 自治体等地域団体関係	17名 (欠席1名)
学校長	2名
(支援チーム、その他行政側)	
区役所	4名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	3名

4 開会のあいさつ（地区連合町内会副会長）

富岡第二地区は地域の住民の輪を広げようといろいろな事業を行っている。幼児から高齢者まで一つの輪となり地域の活性化、よりよいまちづくりを目指して考えている。意見をいただき更なるまちづくりを考えていきたい。

5 区役所あいさつ（センター長）

- ・石川県に被災地支援に行き、状況を見てきた。金沢区の防災を考えるきっかけにしていきたい。地区の皆さまが元気で過ごされることは、素晴らしいと思っている。

6 出席者紹介

- ・毎月の定例会に出席されていない富岡東中学校校長、富岡小学校校長、主任児童委員をご紹介。

7 令和5年度富岡第二地区三大事業振り返り

（進行：地区社会福祉協議会事務局長）

（1）運動会（地区スポーツ推進委員会会長）

1 実施経緯

4年ぶり（2019年以來）7月から準備。経験者もおらず、コロナが5類に移行したとはいえ、3部会で試行錯誤しながら実施した。

2 参加者数

令和5年度 参加者 279名 スタッフ 50名 計 329名

10月8日に開催（3連休の中日だったが大盛況（4年前より参加者増））

3 実施内容

- ・競技内容の検討。百足競争は中止、そろってジャンプ10人から5人、

パン食い競争はパンの間隔を広げる、綱引きは人数を減らす等工夫。
・医薬品が期限切れのため、買いなおし

4 今後に向けて

○構成メンバーの見直し

→運動会運営に詳しいOBの方たちが最初から入っていると良い。

○スタッフ 50人体制

→担当する係によっては人数不足。高齢化しているので若い人の力が必要。

○開催日（3連休）及び参加人数

→幼稚園、保育園の運動会と重ならないよう早めに調整。

町内会による参加人数が100人を超える地区はテントの検討が必要かと。

○参加の呼びかけ

→富岡小学校でチラシ配布。町内会ごとの回覧。次年度は富岡東中学校でも
チラシ配布を依頼できるか？→了承。

○イベントの内容（種目、商品、弁当、予算）

→今回実施しなかった競技を今後どうするか。弁当確認方法。（人数把握）

(2) ウォークラリー大会（地区青少年指導員協議会会長）

1 実施経緯

今回で7回目。以前はみかん狩り、ボーリング大会（12回）を実施。
ボーリング大会は参加者の減少、新杉田ボウルの閉鎖等により見直し。

2 実施実績・参加者数

令和5年度 参加者 255名 スタッフ 64名 計 319名
毎年11月3日に開催。（令和2年度中止、3年度は感染対策を行い実施）
今年度は富岡小学校150周年企画を取り入れ、展示やクイズを実施。

3 実施内容

富二地区の歴史を知ってもらう。（富岡小学校の歴史）
コース距離を4キロ程度とし、競争にせずゲーム感覚で楽しんでもらう。
事故防止の為、誘導員を配置。
ビブス（110枚）を購入し、参加者の目印とした。（効果があった。）

4 参加者の声

初めてアンケートを実施し153人から回答があった。
年代別：40代→41人 10代→30人 70代→27人
知った経緯も、学校から63人 回覧 50人 掲示板 40人と
小学生、その親、祖父母の参加がアンケート回答から読み取れる。
満足度は97%と高く、クイズが楽しかった、景品がうれしい、友達との
参加が楽しい、次回も参加したい、歴史を知ることが出来た等の意見。
トイレの箇所を増やしてほしいとあったが、課題である。

5 今後に向けて

豚汁、おにぎりの復活、交通安全対策、コースのマンネリ化、子どもに対する魅力ある景品等考えていきたい。

- ※ 事故が無く無事に終わり、地域を巻き込んで進めている。今回は富岡小学校の協力もあり、「歴史をたどることが出来、勉強になった」という意見が寄せられた。参加の呼びかけとして、運動会でのチラシ配布が効果的だった。これからも更に参加者を増やしていきたい。

(3) もちつき大会 (地区社会福祉協議会副会長)

1 実施経緯

今回で10回目。昨年度もコロナ禍の中、対策を行い実施。

各町内会のスタッフが自主的に準備を進めてもらい、滞りなく出来た。

2 参加者数

令和5年度 参加者 261人 スタッフ 65人 計 326人

令和6年1月27日 もちつき大会開催。

11時から販売だったが、10時頃から長蛇の列であった。

3 実施内容

当日は8:45からスタートし、

1/26準備、1/27開催、1/28片付け、1/29機械を農協へ返却

4 今後に向けて(課題)

○特にノロウイルス対策としてトイレに専用の石けんをおいた。

○磯辺もちの扱い(容器にくっついて取れない)→詰め方を工夫(紙を挟む)

8 第4期地域福祉保健計画地区別計画の振り返りについて

(進行：地区社会福祉協議会事務局次長)

・A3資料の補足説明

① 全体として

コロナの影響が大きかった期間も対策をしっかりと行い、各行事を進めてきた。特にクラスターの発生もなく、全面的に中止することなく取り組んできた。

令和5年5月に5類となったことを受け、三人行事をコロナ禍前に近い形で今回実施することが出来た。コロナも落ち着き各行事の参加者も増えている。

特に4年ぶりの開催となった運動会は過去の経験を思い出しながら企画・立案し、参加人数の不安もあった中、非常に盛り上がり実行委員一同もほっとした。また、入場式では富岡東中学校吹奏楽部の演奏もありお礼を申し上げる。

② 小学生の通学支援

令和5年12月3日「福祉保健のつどい」で下校児童の見守りについて事例発

表を行った。その時の参加者のアンケートを紹介する。

○継続することの大切さ。すぐには結果には出ないがあきらめてはいけないと気づいた。○とてもタイムリーな話。活動がつながるタネをまく、これからの励みになる。○地域愛、仕事愛が強く根付いていることを実感できた。

登校から始まり、今は下校の見守りを含め4年以上経過し、創意工夫しながらここまで来たが、特に曜日指定の当番制は現状では一番良い方法だと思う。

自ら進んで、見守りボランティアを引き受けた人もいる。声かけで募集するが自発的な場合は非常にうれしい。令和5年12月9日「スクールゾーンキャンペーン」に参加した。通学路のパトロールと見守り活動の啓発チラシのポスティング。富岡会館にて下校児童の活動の紹介、意見交換を実施した。

③ 認知症に関する講座の実施・支援

4年ぶりに令和6年2月7日「ロバの会」の協力により富岡小学校の2年生に向け認知症サポーター養成講座を開催した。最後に質疑応答を行い、○認知症はほっといて何かいけないことはありますか。○認知症は悪くなるものなのか等々大人顔負けの質問があり、大変有意義な講座だった。

9 その他

- ・地域全体で様々な人が関わっており、富岡第二地区はとても心強い。特徴的なことと言えば、ウォークラリーへのベビーカーでの参加者が多い。過酷なルートも盛り込まれているが、とても楽しめる。運動会は参加者も増え地域の関心が高いと感じた。学校を借りて行事を開催しており、学校とのタイアップもしっかりとれている。(区社会福祉協議会)
- ・地区の為に行事をしっかりと続けていくという姿勢や行事に参加する人の笑顔がとても素敵で、地区の魅力を感じた。(富岡東地域ケアプラザ)

10 閉会のあいさつ（地区社会福祉協議会副会長）

- ・振り返りシートを一年に一回まとめ、振り返りをするのは素晴らしい。中止してしまうのは簡単だが、継続していく中でよりよい活動を目指していく事は、皆さま一人ひとりの力（支援）だと思う。今後もよろしくお願いします。